

きつねの窓(6年生 国語)



6年生の国語の学習の様子です。
「きつねの窓」という物語教材の学習です。
主人公が森で出会った子ぎつねに
染めてもらった指で窓の形をつくと
そこに不思議なものが映るというお話です。
今日の学習では窓に映ったものに
共通することが何なのかを考えました。
最初に自分自身で答えを考え、
後半は友達と交流しながら自分の考えを
修正したり深めたりしていました。

